

食べることは、
幸福の中にあることでした。

FUKUI HAPPINESS

大本山 永平寺

来る人も
住む人も
しあわせ福井

稼ぐ観光にむけて 福井県観光DXの推進について ～データで切り開く観光戦略～

2026年2月5日
公益社団法人 福井県観光連盟
(福井県DMO)

観光地域づくりマネージャー
佐竹 正範



佐竹 正範

公益社団法人 福井県観光連盟 (福井県DMO)

観光地域づくりマネージャー

(紀尾井町戦略研究所株式会社からの出向)

1973年 10月17日 生まれ
出身 : 福井県あわら市
大学時代 : 神戸
社会人 : 東京 (北海道)
現在 : 福井県 & 沖縄 (やんばる)
趣味 : サーフィン

2000年にヤフー(株)に入社。広報、ブランドマーケティング、CSR等を担当し、東日本大震災以降は、ITを活用した地域活性化を担う地方創生プロデューサーとして自治体をサポート。2015年より、内閣府などが後援する「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会」の幹事長を務め、地域商社協議会の運営なども行なっている。2016年より3年間、総務省の地域おこし企業人として北海道美瑛町に出向し、政策調整課長補佐として地域DMO「丘のまちびえいDMO」の立ち上げを行い、同DMOのCMO(Chief Marketing Officer)として従事。独自CRMの構築を行うなどしてデータオリエンテッドなDMO戦略を推進し、観光によるまちづくりを展開。2020年に紀尾井町戦略研究所(株)に転籍。2021年8月から公益社団法人福井県観光連盟に出向し、福井県の観光地域づくりマネージャーとして、観光で「稼ぐ」地域づくりを推進する福井県の観光振興の旗振り役として活動中。2025年4月から沖縄県のやんばる地域のDMO設立支援も行っている。



データで切り開く福井県の「稼ぐ観光」戦略

課題：縮小する地域経済

2000年をピークに続く人口減少



2000年をピークに続く人口減少
域内経済を維持するため、
観光による「外貨」獲得が不可欠です。



人口1人の減少は
年間130万円の経済損失



人口1人の減少は
年間130万円の
経済損失



多くの観光客誘致が必要
例：外国人旅行者52,008人分

旅行スタイルの変化：団体から個人へ



団体

個人・オンライン化する旅行者の多様な
ニーズへの対応が急務となっています。



個人・オンライン化

FTAS

福井県観光データ
分析システム

解決策：データで「稼ぐ観光」へ

QRコードで観光客の「生の声」を収集



満足度

消費動向

アンケート



県内93エリアでアンケートを実施し、満足度や
消費動向データを集積・公開します。

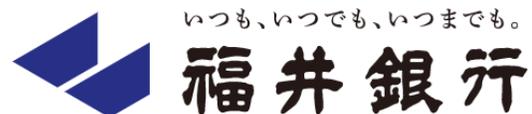
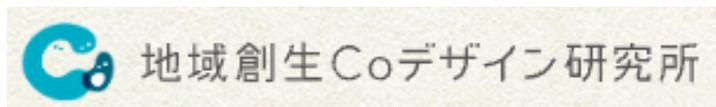


目指すは観光消費額と満足度の向上
データ分析に基づき商品・サービスを
磨き上げ、リピーターを増やします。

戦略のゴール：具体的な数値目標

目標	現状値(令和5年)	目標値(令和11年)
(1) 観光消費額	1,225億円	1,700億円
(2) 観光客入込数	1,760万人	2,100万人
(3) 外国人宿泊者数	6.5万人	40万人

— 福井県観光DXコンソーシアム —



稼ぐ観光地域づくりを目指して



あるべき姿

戦略

戦略

...

現状把握

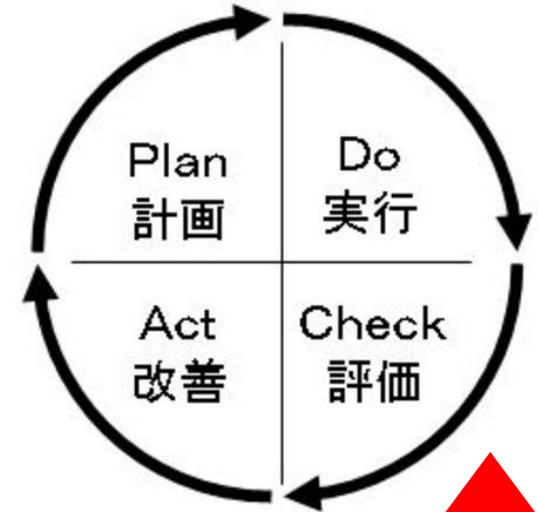
稼ぐ観光地域づくりを目指して

ポジショニングの考え方を
観光の領域にあてはめると

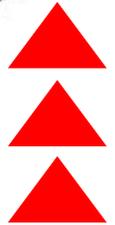
アクション

アクション

...



PDCAを回す



稼ぐ観光を目指して
観光プレイヤー支援



最初の驚き

観光業という 業種がない？

観光業は、日本標準産業分類※で
ひとつの業種として分類はされていない。

※ 参照：<https://ja.wikipedia.org/wiki/日本標準産業分類>

日本標準産業分類とは、日本における産業分類のうち20世紀半ばに成立して現在用いられているもの、標準産業分類の日本版を指す。日本の公的統計における産業分類を定めた総務省告示であり、統計調査の結果を産業別に表示する場合の統計基準として1949年（昭和24年）10月に設定されて以来、改定が重ねられてきた。農業・建設業・製造業・卸売業・小売業・金融業・医療・福祉・教育・宗教・公務などのすべての経済活動を、大分類・中分類・小分類・細分類の4段階に分類している。

地域の観光コンテンツ造成や
プロモーションを考える時に

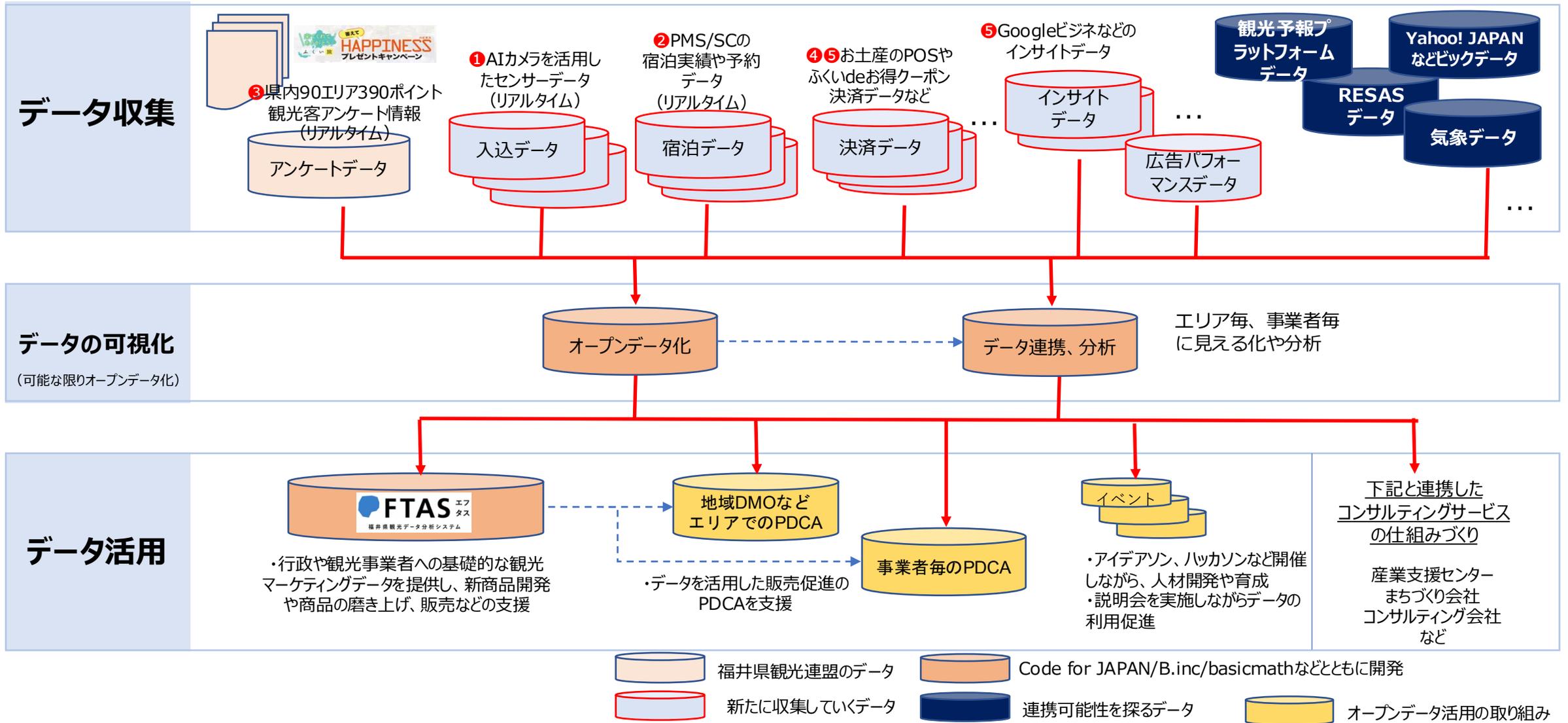
誰をターゲットに
何をするか？

そのために
知りたいこと

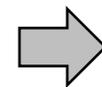
現状把握

- ・ 何処に、どれぐらいの人が？
- ・ 何処に、どれぐらいの人が宿泊？
- ・ 何処から、どんな人が、何の目的で？
- ・ 何処で、いくら域内消費をしている？
- ・ 観光客の満足度や再来訪意向は？
その理由は？
- ・ 旅行の情報収集手段は？
- ・ 季節変動は？
- ・ エリアごとに観光客の特徴は？

「稼ぐ観光」に向けた、データ収集とデータ活用



リアルタイムな定量データ収集



タイムリーなPDCA

アンケートデータのオープンデータ化

(過去のデータ)

2022年度～



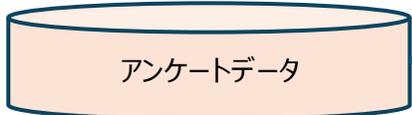
県内70エリアに、ユニークなQRコードを設置し、アンケートに答えてくれたら、抽選でプレゼントをするキャンペーン展開



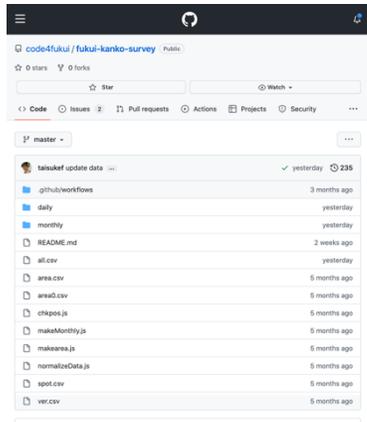
2022年4月28日開始



アンケート収集数
88,664件
(2026年1月20日時点)



GitHub上にオープンデータ化



FTASオープンデータ on GitHub

オープンデータ

- 福井県観光アンケート全データ (https://code4fukui.github.io/fukui-kanko-survey/all.csv) (月別/日別)
- 回答エリアマスター area.csv (https://code4fukui.github.io/fukui-kanko-survey/area.csv)
- エリア別スポット spot.csv (https://code4fukui.github.io/fukui-kanko-survey/spot.csv)

活用アプリ

- 福井県観光アンケートオープンデータ分析ツール

ライセンス

- CC BY 福井県観光庁
- 福井県観光データ分析システム「FTAS」により公開された、福井県観光庁によるオープンデータです。出典等を記載いただければご自由に再利用いただけます

アプリを開発して見える化 (日次更新)

簡易分析

回答数推移

満足度ランキング

レポート意向ランキング

高感度ランキング

トレンド分析

福井県に求めるもの

観光滞在時間

コメント新着順

コメント検索

コメントマップ

ワードクラウド



観光マーケティング分析ツール (月次更新)

basicmath

- 観光目的分析
- 観光客分析
- 観光満足度分析
- 観光誘客分析
- 宿泊分析
- 移動手段分析
- 口コミ情報

地域創生Coデザイン研究所

2024年度～

宿泊予約データの収集とオープンデータ化 (未来のデータ)

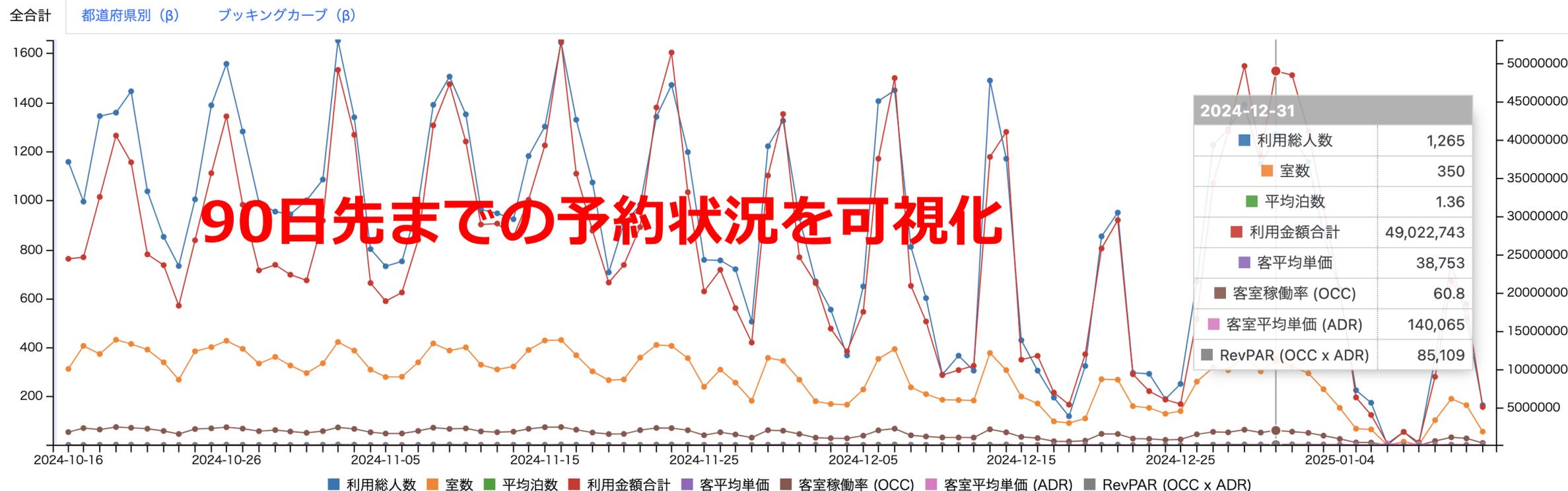
2023年度～



あわら温泉エリア、福井駅前エリア、越前海岸エリア、小浜エリア、三方五湖エリア (5エリア)

あわら温泉エリア 宿泊予約状況 (データ出典：福井県観光連盟)

期間：2024/10/16 ~ 2025/01/13

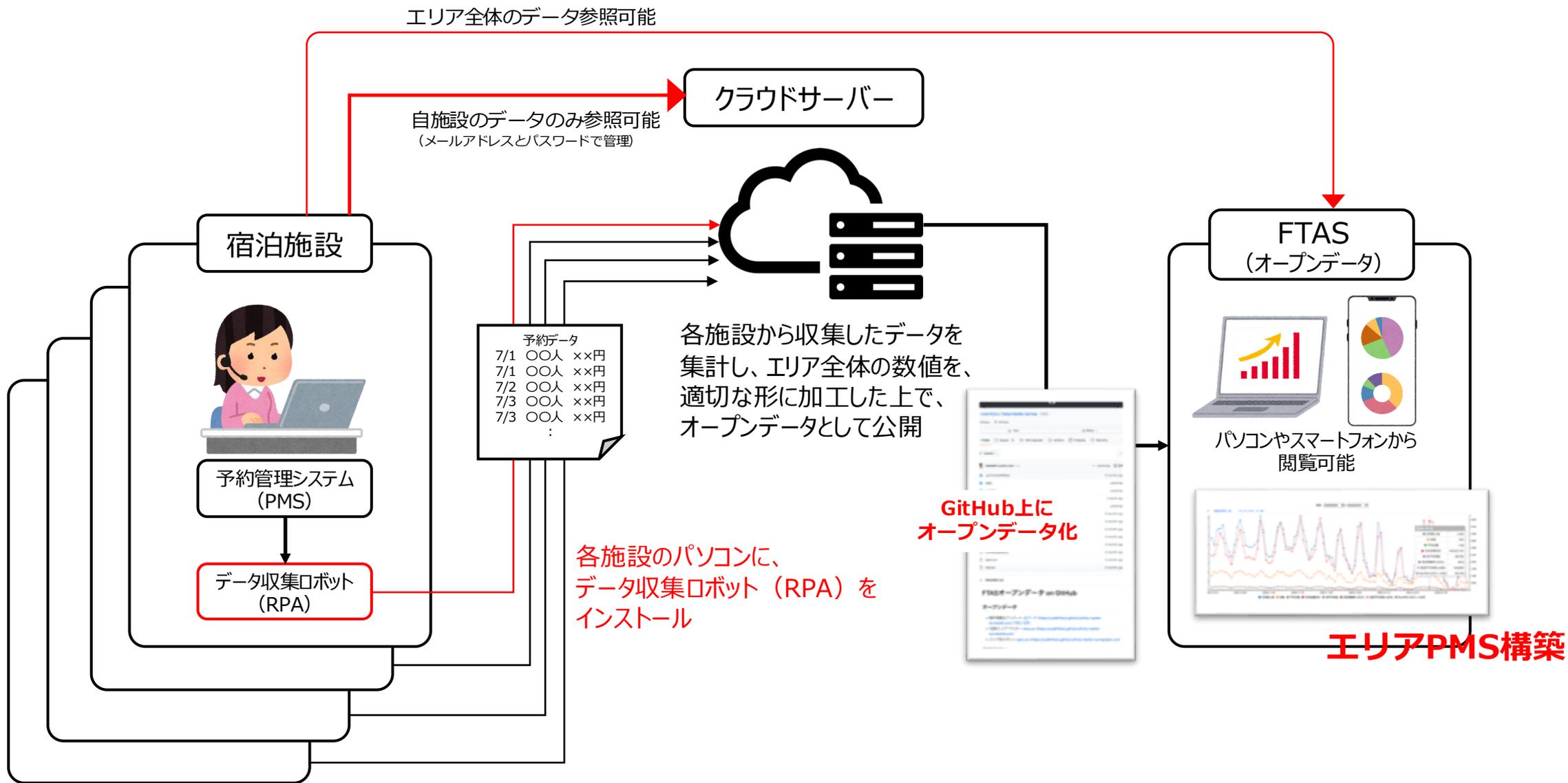


福井県あわら温泉エリア、10のホテル (総客室数576) の予約状況を合算したオープンデータです。(部屋数は2024年10月16日時点です)
「CSVオープンデータダウンロード (OCC/ADR/RevPAR付きCSV)」 (2024年10月16日現在)

オープンにすることで

宿泊事業者：ダイナミックプライシング
周辺事業者：仕入れや人員手配
観光協会：プロモーション活動

エリア全体で活用



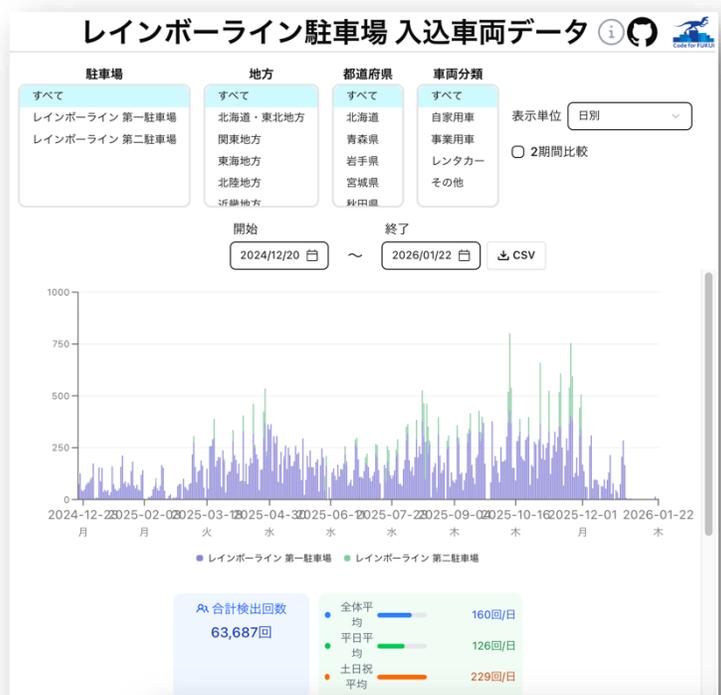
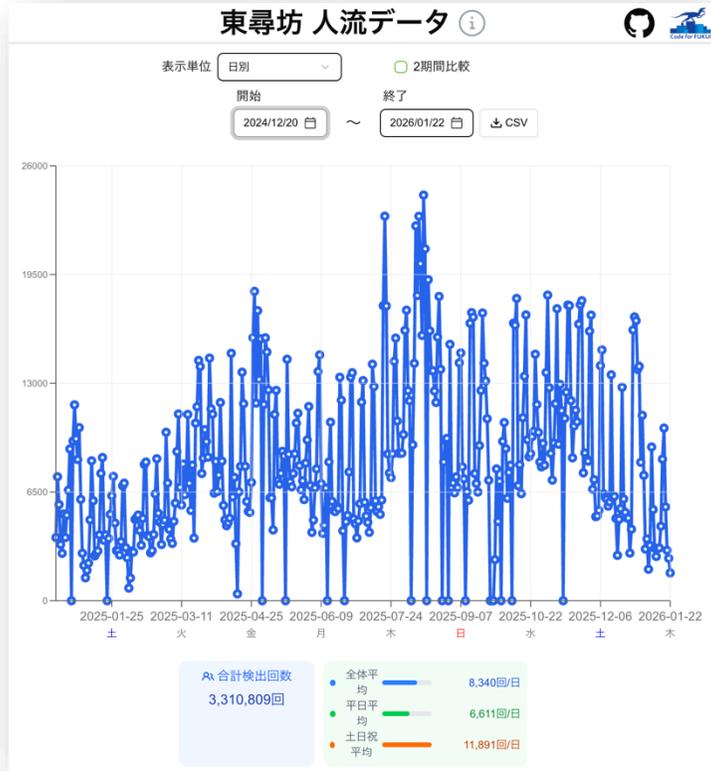
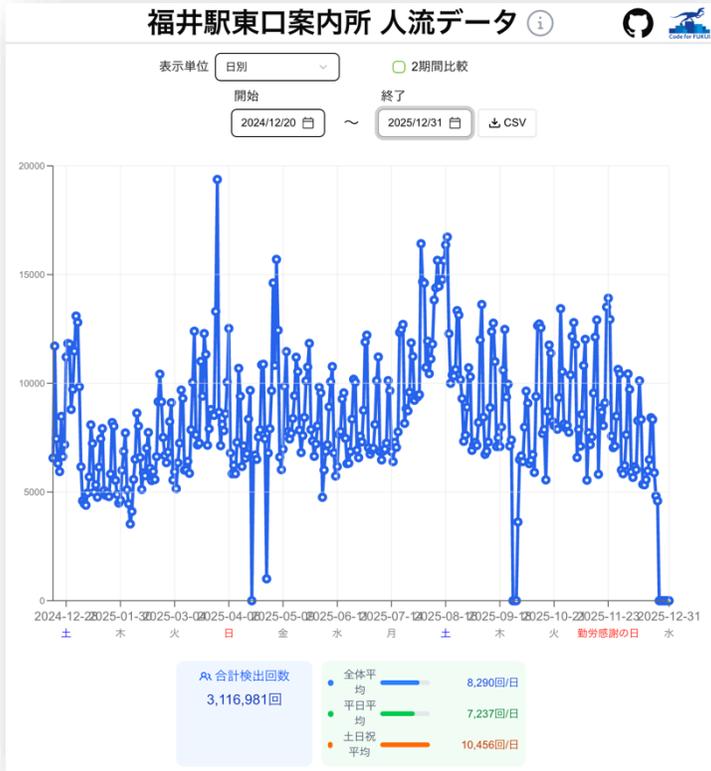
AIカメラでの入込み数把握 (過去のデータ)

2024年度～



福井県観光データ分析システム

福井駅東口観光案内所、東尋坊、レインボーライン



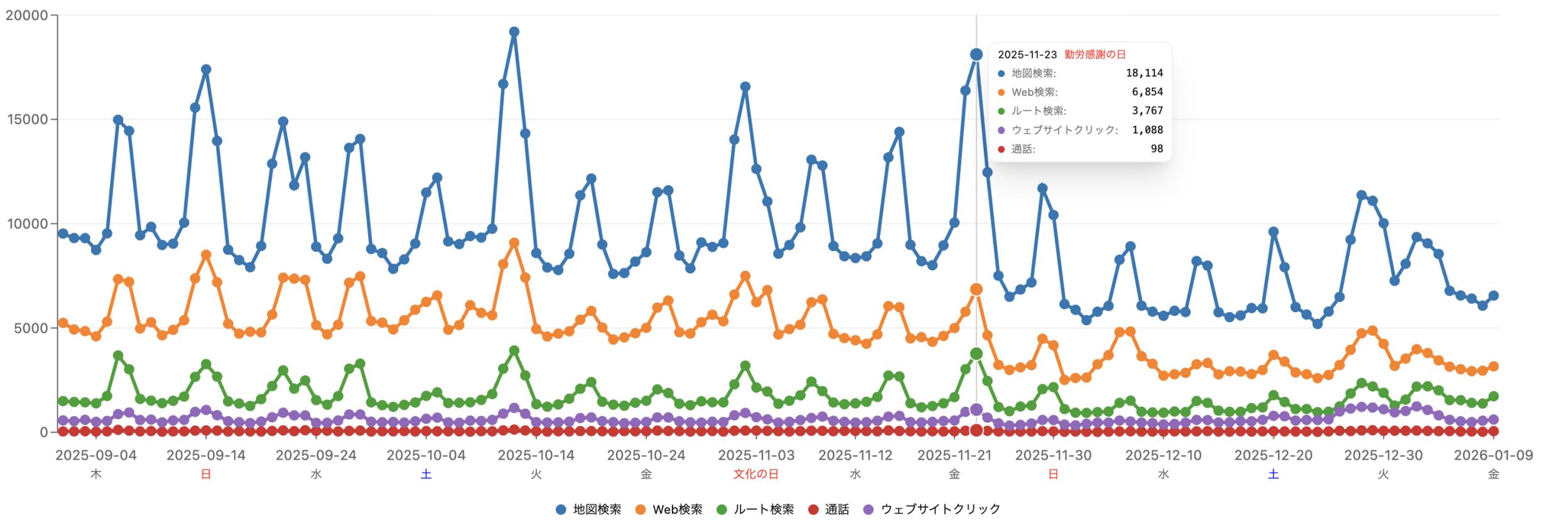
観光ロケーション・トレンドレポート



エリア 表示単位 2期間比較

開始 ~ 終了

回数推移



どんなデータがあるか？

〔未来が分かるデータ〕

定量的な情報 : 宿泊予約状況 / 日次
恐竜博物館予約状況 / 日次
観光公式サイト Google Analyticsデータ

〔過去が分かるデータ〕

定量的な情報 : 入込数 ・ 日本観光振興協会オープンデータ / 月次
・ AIカメラ / 日次
・ Googleビジネスインサイト / 一定期間

宿泊数 ・ 観光庁宿泊統計調査 / 月次 (2ヶ月後)
・ 宿泊予約実績 / 日次

消費額 ・ POSデータ (道の駅やお土産屋さん)
・ はぴコイン決済データ / キャンペーン毎

定性的な情報 : アンケートデータ 国内 HAPPINESSアンケートデータ / 日次
海外 Welcomeアンケートデータ / 日次

Googleビジネス 口コミデータ / 一定期間
Instagram投稿データ / 一定期間
観光公式サイト Google Analyticsデータ

FTAS (福井県観光データ分析システム)

<https://www.fuku-e.com/FTAS>

観光事業者のマーケティング環境整備

観光の現状把握の為にデータ収集し
オープンデータとして公開



観光客の満足度向上に向けて

観光コンテンツの磨き上げ
新たな観光コンテンツ開発

稼ぐ観光を実現していく

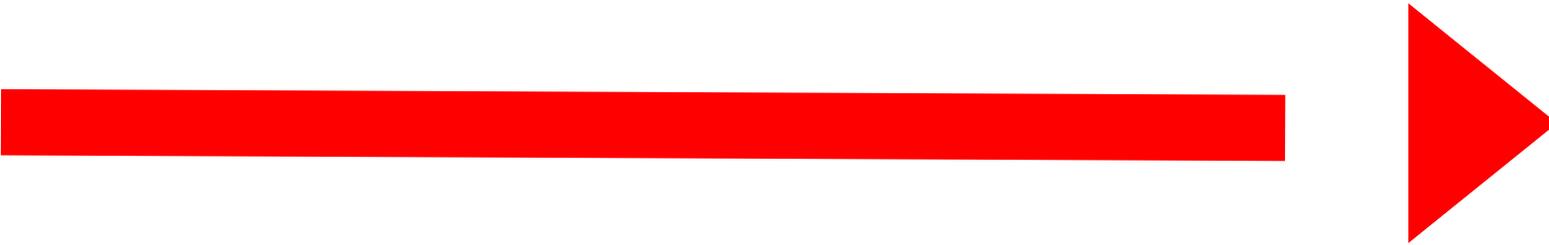
福井県観光データ分析システム「FTAS (FUKUI Tourism data Analyzing System)」(略称：エフタス)を提供しています。 2024.09.04
* 33,451 view

FTASは、「稼ぐ」観光地域づくりを推進するため、データを活用して福井県観光の実態を多角的に「見える化」するツールです。

目次

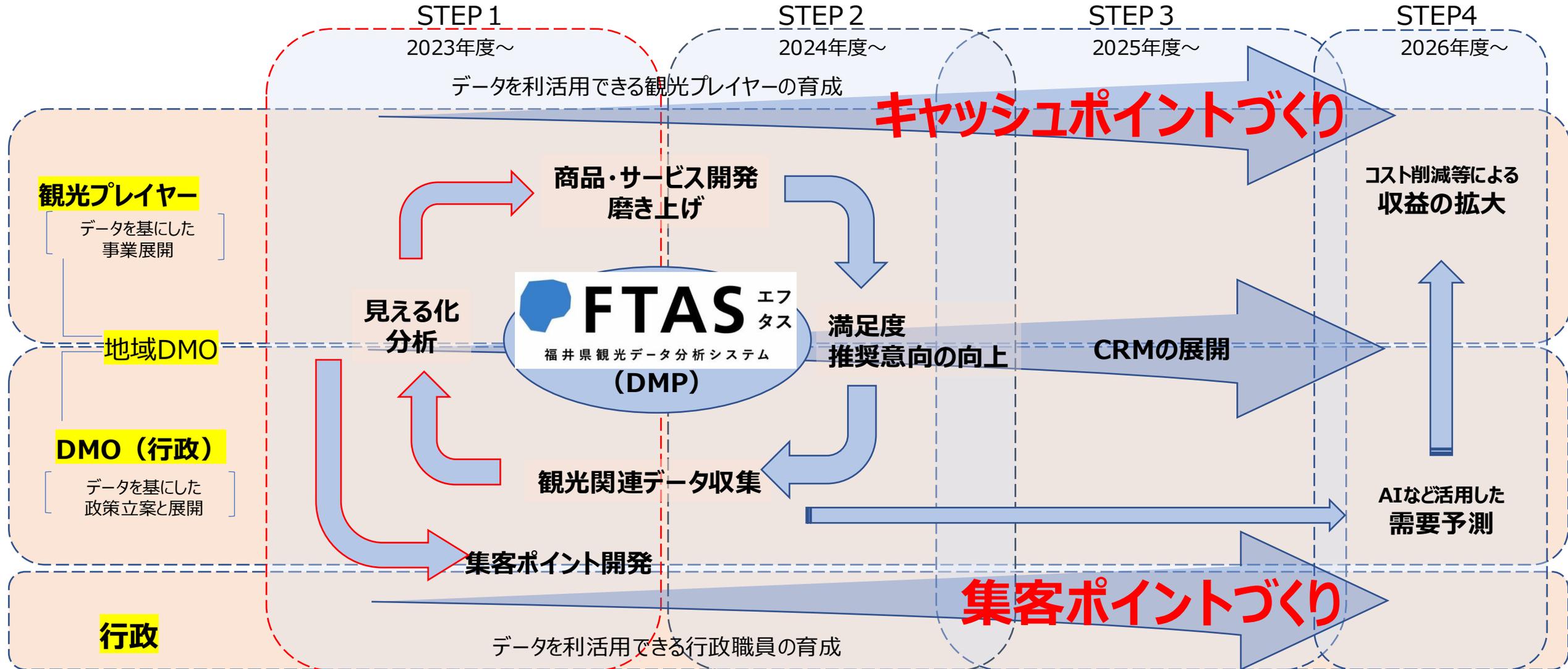
- 1) 今後の観光動向関連
 - 1-1) 恐竜博物館予約状況
 - 1-2) 県内宿泊予約状況
 - 1-3) 「ふくいドットコム」アクセスデータ
- 2) 観光客実態について
 - 2-1) HAPPINESSキャンペーンアンケートデータ
 - 2-2) オープンデータを活用した分析ツール
- データの活用方法について
- 2-3) 観光客の満足度向上に向けて
- 3) 県域での実態について
- 4) 行政関係のみなさまへ
 - 4-1) オープンデータを活用した分析ツール
 - 4-2) 福井県の観光による住民幸福度に関するアンケート結果
- 5) 各種観光レポート等リンク
- 6) 福井県観光DXについて
 - 6-1) コンソーシアム
 - 6-2) 2023年度の活動について
- 7) 福井県観光DXの活動実績やレポートなど

FTASを通してやっていること



データ活用による「稼ぐ観光」の中長期展開イメージ

※2024年春 北陸新幹線敦賀延伸予定

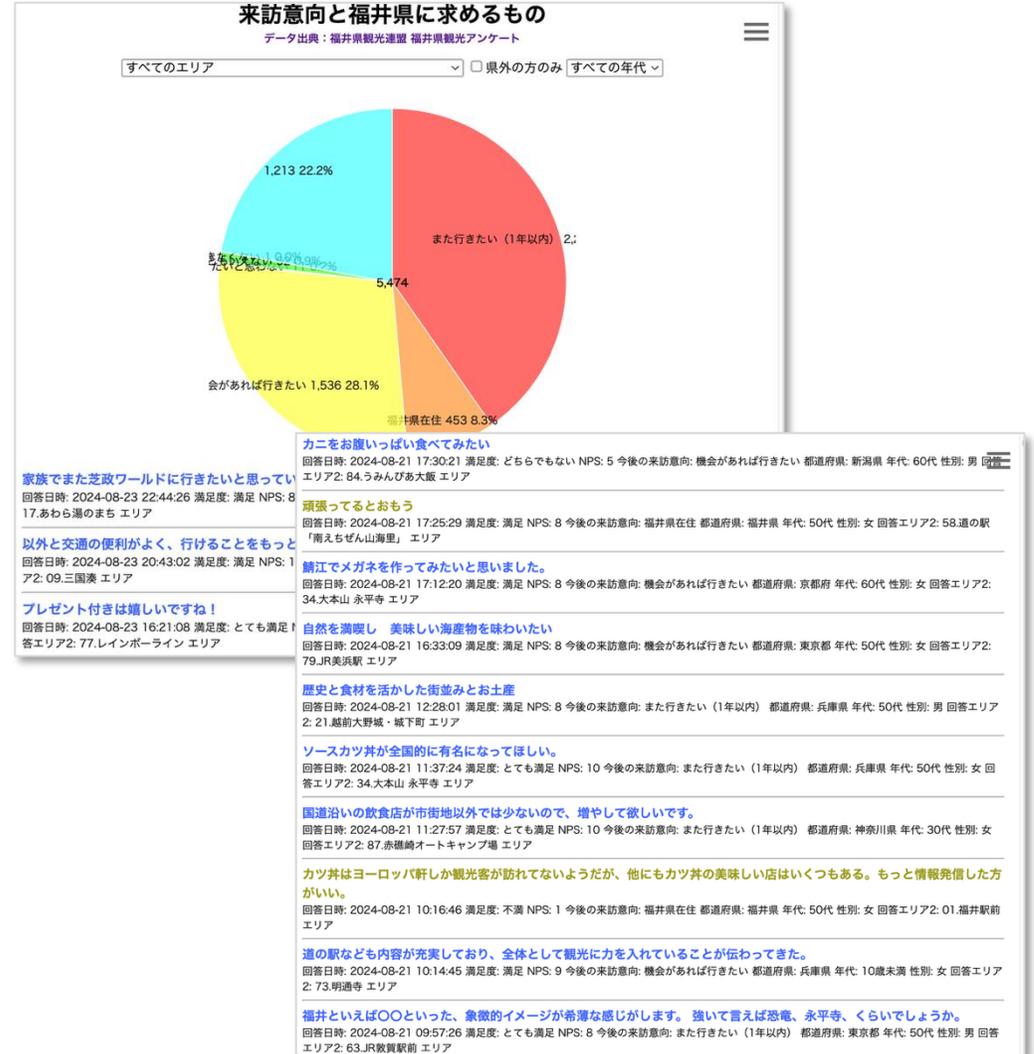


データを基に、キャッシュポイントの磨き上げ

満足度とその理由



来訪意向と福井県に求めるもの

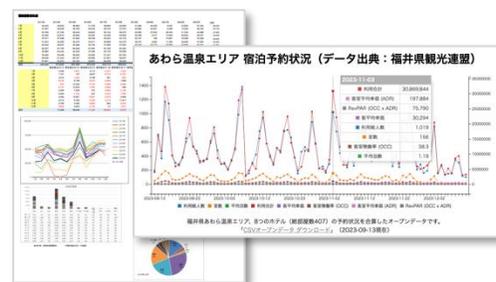


観光客の満足度向上に向けて、観光の現場で課題解決！

データを基に、現状分析と戦略立案支援活動

■ 芦原温泉旅館組合（マーケティング委員会）

周辺温泉地の宿泊データも併せての現状分析と新たな施策の協議



あわら市観光協会の方も含めて協議

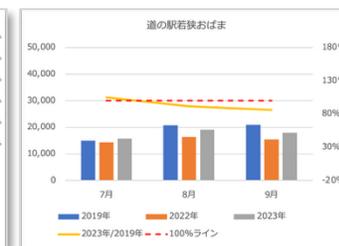
■ 勝山市観光まちづくり（勝山DMO）

恐竜博物館の予約データを基に協議



■ まちづくり小浜 おばま観光局（小浜DMO）

KDDIの人流データを基に、夏の実態分析



■ 越前おおの観光ビューロー

データで現状把握しながら、SWOT分析を実施



■ コンテンツ造成補助事業でデータ分析項目の必須化

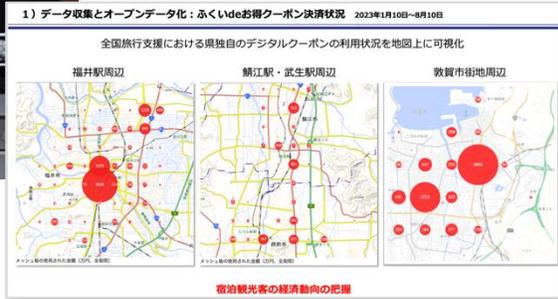
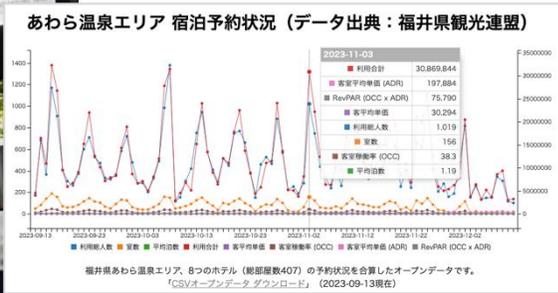
令和5年度 観光地域づくり推進事業補助金【民間プレイヤー（DMC）等を対象】

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた観光で「稼ぐ」地域づくりを推進するため、「観光地域づくり推進事業補助金」により、「稼ぐ」観光地域づくりを展開する民間プレイヤー（DMC）、および「宿泊」「食」の地域資源の活用によるブランド力向上や先駆的な「体験」「アクティビティ」コンテンツの新規開発モデル事業を行う観光事業者等への支援を行っています。

FTASの利用説明会の実施

■ 福井県よろず支援拠点 (福井県産業支援センター)

中小企業支援をする、よろず相談委員向けにFTAS説明と意見交換



■ 福井銀行C&C

県内企業を支援するコンサルタントへのFTAS説明との意見交換

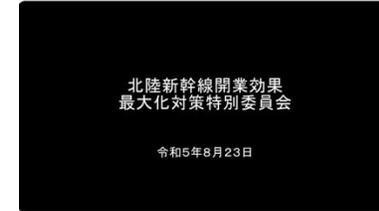


■ 講演・研修会などでデータで現状伝達とデータ活用の働きかけ

講演・研修・勉強会など 2023年度 32回実施、2024年度 70回実施、2025年度 27回実施



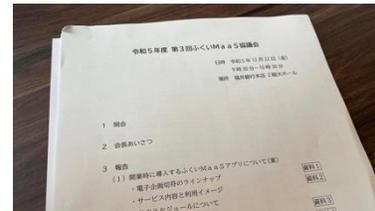
福井商工会議所青年部



福井市議会特別委員会



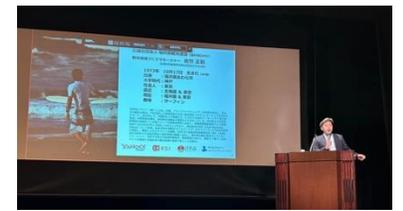
仁愛大学講義



ふくいMaas協議会



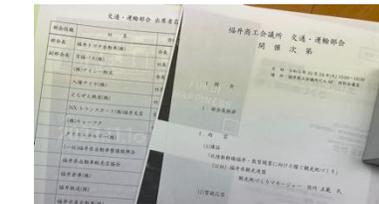
福井県観光アカデミー講義



若狭湾サイクリングルート推進協議会



あわら市で観光ビジョン作成WS



県内交通事業者勉強会



ロータリークラブ卓話



各種オンラインセミナー



まちづくり有志の勉強会

福井県公式観光サイト「ふくいドットコム」の運用



その時々で、何を打ち出していくか？

〈判断材料〉

Googleアナリティクスデータ

- ・ 流入検索ワード
- ・ 写真のクリック数（ページ閲覧数）
- ・ 過去の実績データ

SNSの反応

- ・ いいね数
- ・ シェア数

HAPPINESSアンケート

- ・ アンケート回答数
- ・ 推奨意向（NPS）数値

	回答数	NPS	NPS前年	NPS変化
1 越前松島水族館	127件	38.6	25.8	12.8
2 レインボーライン	199件	34.2	29.8	4.4
3 大本山永平寺	808件	32.7	21.3	11.4
4 芝政ワールド	61件	29.5	-12.5	42.0
5 道の駅「越前おの荒島の郷」	274件	26.3	18.8	7.5
6 平泉寺白山神社	96件	26.0	10.6	15.4
7 あわら湯のまち	1,036件	25.5	7.3	18.2
8 道の駅「南えちぜん山海里」	355件	25.1	28.2	-3.1
9 越前陶芸村	86件	24.4	-5.8	30.2
10 道の駅「若狭おばま」	243件	23.5	16.7	6.8
11 はたや記念館 ゆめお-丸勝山	86件	23.3	-7.1	30.4
12 小浜市 阿納	111件	22.5	19.3	3.2
13 湖上郷(ムロ) (水月湖)	121件	20.7	2.0	18.7
14 越前そばの里	640件	18.9	0.0	18.9
15 御食国若狭おばま食文化館	121件	20.7	2.0	18.7
16 福井駅前	189件	18.5	-10.9	29.4
17 花の駅 ゆの聖公園	208件	17.8	5.4	12.4
18 福井駅前	216件	17.6	8.7	8.9
19 うみんぴあ大飯	206件	17.0	9.9	7.1
20 道の駅「志摩深谷かつやま」	67件	16.4	13.3	3.1
21 越前海岸 北部	111件	16.2	12.0	4.2
22 えちぜん鉄道 松岡駅	250件	16.0	21.4	-5.4
23 明通寺	71件	15.5	5.7	9.8
24 敦賀市立博物館	262件	11.5	-5.5	17.0
25 JR美浜駅	268件	11.2	0.0	11.2
26 丸岡城	266件	10.5	-1.3	11.8

推奨意向ランキング

毎週、データを基に編成会議を実施

- ・ 翌週、翌々週に、公式サイト上で何を掲載していくか？
- ・ SNSで何を投稿していくか？

FTASを活用した人財育成

■ 福井工業大学（経営情報学部）



経営情報実践学演習基礎（経営システムコース/マーケティング）
FTASを活用して、観光データ分析と観光マーケティング戦略提案
という講義を展開

■ 北陸大学（データドリブンLab）



福井県観光DXコンソーシアムと北陸大学
で連携覚書を締結

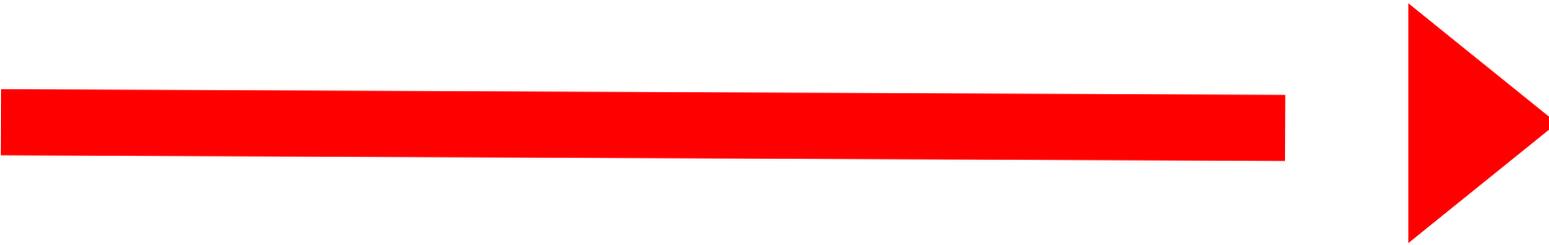


事業連携の一環として、株式会社
地域創生Coデザイン研究所の玉井
誠氏、市彩華氏、村田浩樹氏が、
同好会「データドリブンLab」の
学生向けに特別講演と実習を開催

■ その他

- ・ 神戸大学、福井大学、早稲田大学、小松大学など、全国各地の学生たちの修士論文で活用
- ・ 来年度からの東京都教育委員会の高校生向け学習教材でも紹介

データ活用例



行政や観光協会などでの活用事例（1）

<主な活用シーン>

■ 議会対応

■ 補助金事業申請

■ 政策立案

■ プロモーション

■ 効果測定

- 観光客の属性や周遊の傾向、新幹線開業効果の確認
→ **議会で説得力のある説明に活用**
(市役所観光課/課長)
- 地域の満足度や感想、宿泊予約の状況、消費動向について、現状を確認するため
→ **観光庁補助事業申請に活用 (採択3件)**
プロモーションのターゲット設定に活用
(市役所観光振興課/担当者)
- 北陸新幹線開業効果分析、月別データ分析
→ **観光施策を計画するうえで活用し**
数字を提示して説明ができた
(町役場観光商工課/課長補佐)

行政や観光協会などでの活用事例（2）

<主な活用シーン>

■ 議会対応

■ 補助金事業申請

■ 政策立案

■ プロモーション

■ 効果測定

- 町の観光統計の一部として
 - **観光協会会員への説明資料の一部として活用**
 - **観光庁補助事業の計画書の一部に記載**
(町観光協会/課長)
- ニーズやターゲットの把握のため
 - **FTASを活用することで、自信（根拠）を持って事業を行う事が可能になり、事業の目的も明確になった。**
(市観光協会/担当者)
- エリア毎の客層の違いの分析
 - **周遊促進、広告出稿やチラシ配布エリアの選別、町内観光事業者との情報共有などに活用**
(町観光協会/担当者)

観光施設や民間事業者での活用事例（1）

宿泊事業者

- アンケートデータとエリアPMSで現状把握
→ サービス改善、料金プランや商品の造成、プロモーション設計など販売戦略の見直し
現場スタッフへのフィードバックに活用
(経営者)
- エリアPMSで、宿泊予約状況の確認
→ 価格設定の変更 (ダイナミックプライシング)
(担当者)

まちづくり会社

- 観光客の実態確認
→ 観光庁 補助事業の申請時に
事業計画策定根拠として活用
(経営者)

観光施設や民間事業者での活用事例（2）

観光施設事業者

- 来訪者の導線を確認するため
→ **管理権限者への説明に当たっての数値確認など**
(担当者)
- 観光客の声（満足度の理由）を確認
→ **ベンチが欲しいという声を見て、
ベンチを設置した**
(マネージャー)
- アンケートデータで訪町者の傾向、発地など確認
→ **広告宣伝先の見直し検討ができた**
(担当者)

観光施設や民間事業者での活用事例（3）

道の駅運営事業者

- 観光客の声（満足度の理由）を観光協会と共有し議論
→ **地元の観光協会との連携が増えた**
（マネージャー）
- 恐竜博物館予約状況の確認
→ **スタッフの手配と生鮮系仕入れの量を調整するため**
（道の駅/マネージャー）

体験型コンテンツ 提供事業者

- 観光客の属性分析に利用
→ **新たな体験コンテンツの開発を行った**
（マネージャー）

観光施設や民間事業者での活用事例（4）

商業施設 運営事業者

- ・ エリアPMSを活用
 - **施設内の店舗との定例会議で
店舗売上向上に向けた有益な情報として
共有している**
(マネージャー)

地域交通事業者

- ・ アンケートデータで、交通手段の割合など
 - **肌感覚と合わせての振り返りと
今後の事業戦略づくりのため**
(取締役)

稼ぐ観光のマーケティングの基本

入込人数

満足度や推奨意向
リピート率



観光客属性やニーズ
に合わせたコンテンツ造成

消費額 (≒滞在時間)

1人あたり消費額
周遊数
宿泊延数

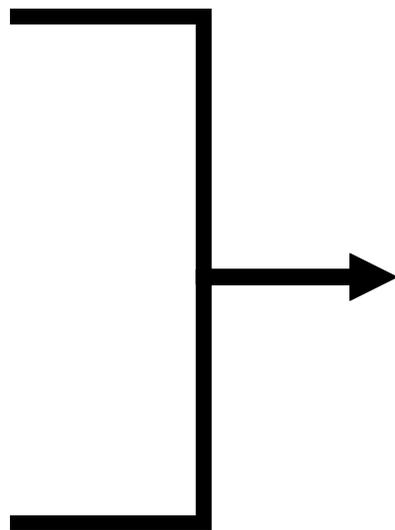
(宿泊稼働率)

(宿泊キャパ)



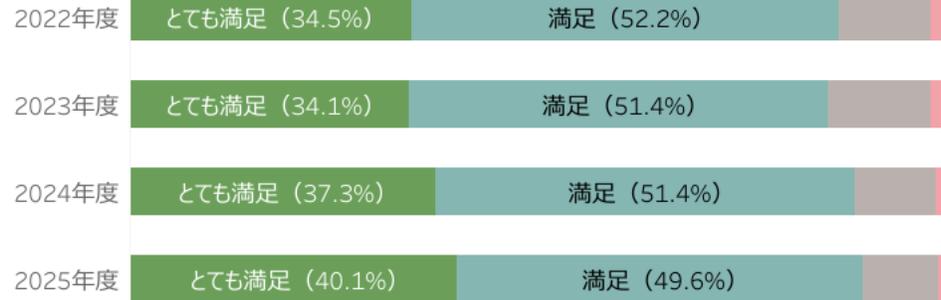
閑散期を埋める

宿泊施設の増加

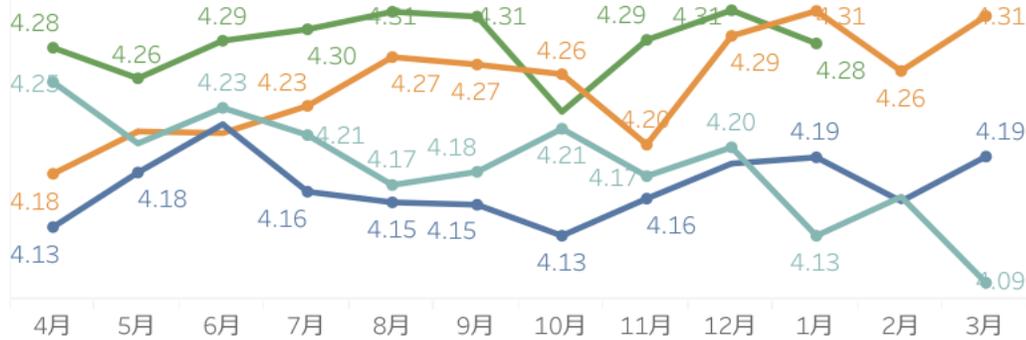


観光消費額

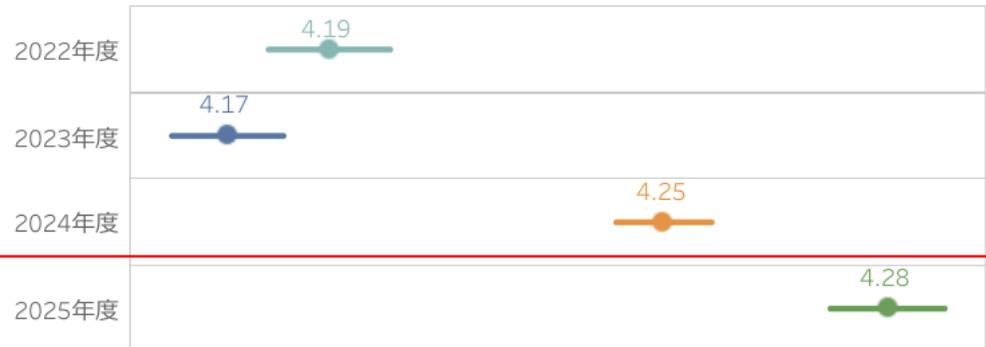
満足度 ※回答数



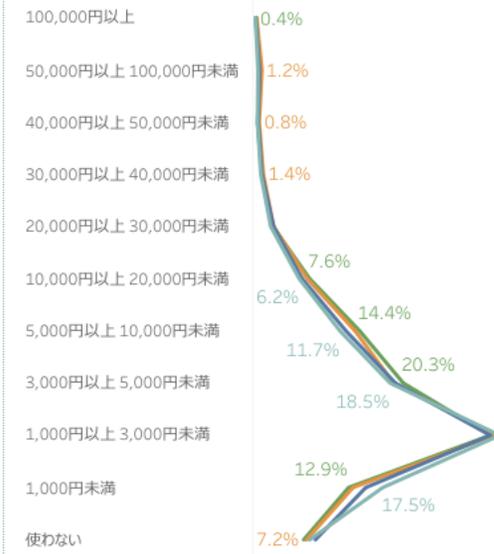
満足度スコア (推移)



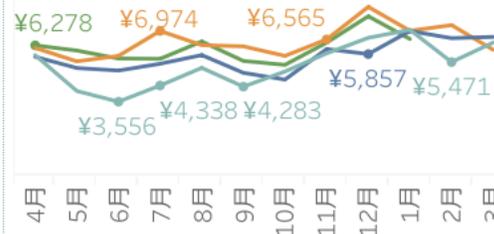
満足度スコア 95%信頼区間



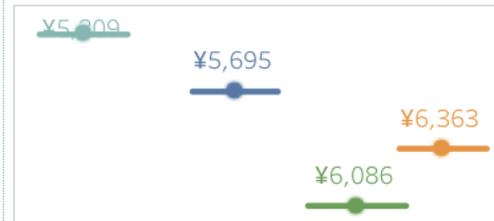
エリア消費額 ※回答数



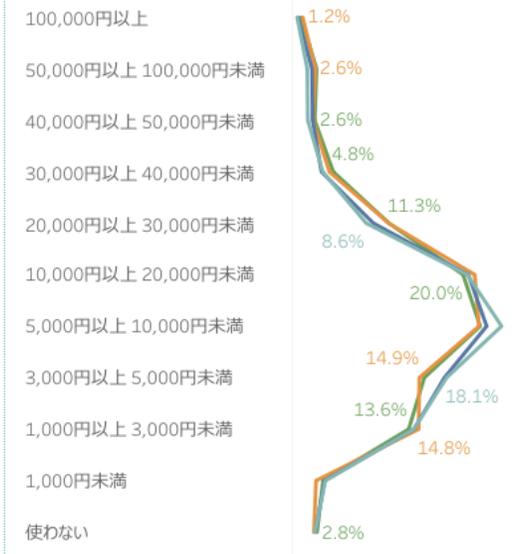
平均エリア消費額 (推移)



エリア消費額 95%信頼区間



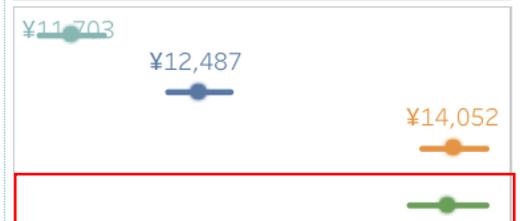
県内消費額 ※回答数



平均県内消費額 (推移)



県内消費額 95%信頼区間



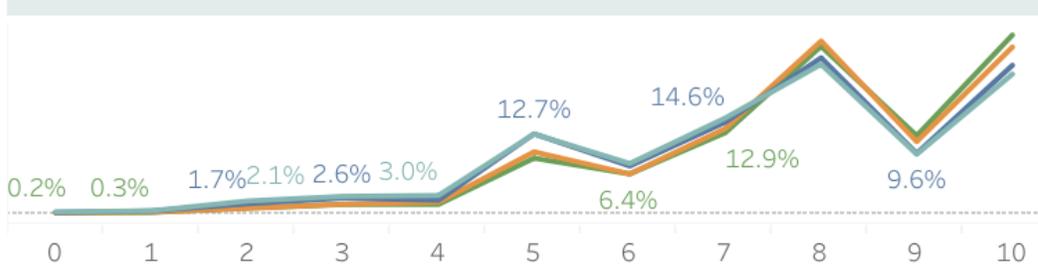
NPS（推奨意向）



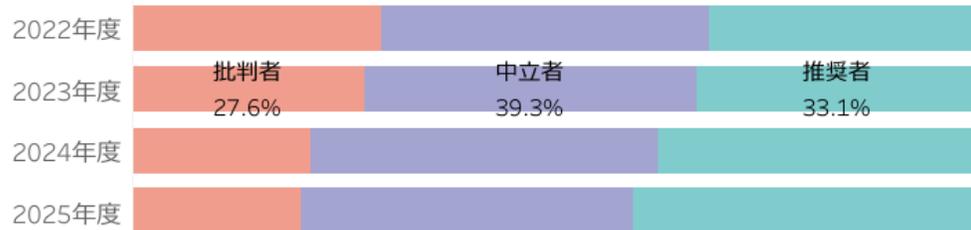
NPS（推奨意向）推移



NPS（推奨意向）（通期）



NPS（推奨意向）カテゴリ *回答数



回答エリア別NPS（推奨意向）ランク(20位まで)



今年度の取組み



1. FTAS観光データをAI分析（プッシュ型）

- ・ 宿泊予約状況、恐竜博物館予約状況、入込数などのオープンデータをAIが自動分析。
- ・ 視認性の高い観光動向レポートとして、記事やニュースレターで配信。

2. 生成AIツールによる観光DX支援

- ・ OpenAI、Claude、Geminiなど複数の生成AIを利用可能。
- ・ ホームページ・SNS運用の効率化や、SWOT分析・価格戦略・新規事業開発などのプロセスをAIエージェントが支援。
- ・ 観光DX専門のAIコンサルタントによる導入・活用サポート。



観光事業者の「労務時間削減」 「生産性の向上」

AIとオープンデータで観光地の経営を加速！福井県あわら温泉の事例

課題：従来の情報分析



作業時間に約2時間

レポート作成1回あたり、約2時間の作業時間を要していた。



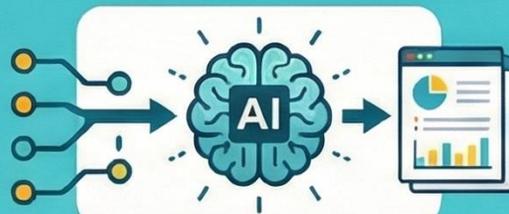
分析は月1回の頻度
作業負荷のため、分析情報の共者は月1回程度にとどまっていた。

手作業でのレポート作成

FTASからCSVデータをダウンロードし、手作業でレポートを加工する必要があった。



解決策：FTAS × AI分析レポート



作業時間はわずか5分に短縮

1回あたりの作業時間が約5分へと大幅に短縮された。



週次での情報共有が可能に
業務効率化により、経営判断に直結する情報を週次で機械的に共有できるようになった。

レポート作成を自動化

AIが分析レポートを自動生成するため、ダウンロード・送付するだけで共有が完了。



活用方法：データに基づく経営判断



活用目的：エリア全体の動向把握と経営判断

エリア全体の宿泊予約動向を把握し、自社の経営判断に活かすことが目的。

具体的な活用例



エリア全体の予約トレンドと自社データを比較し、販売価格の調整やマーケティング施策のタイミングを判断する。

意思決定を強力に支援

「エリア全体」と「自社」の比較分析が可能になり、事業上の重要な意思決定を後押しする。

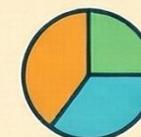
今後の展望：進化する分析機能



「非常に有用」との高評価

意思決定を支援する分析レポートが自動生成される点が特に評価されている。

期待される新機能



地域別売上構成



移動年計グラフ

地域別の売上構成や、売上・客室稼働率の移動年計グラフの出力機能が期待されている。

事業判断の精度向上へ

月次変動に左右されない年間トレンドを把握し、エリアの状況をより正確に従えることを目指す。

「オープンデータ×AI」観光速報共有基盤 ユーザーフィードバックレポート

主要な成果：実証事業のハイライト



7点以上の評価が78.0%を占め、大多数から肯定的な評価。



75.0%が「使いやすい」
多様なITリテラシーに対応。



AI分析の信頼性は64.3%が「高い」
データ駆動型の観光提案立案を支援。



情報量は78.6%が「ちょうどよい」
最適な情報バランスが実現。



幅広い用途で活用
単純なデータ確認から、市場分析・戦略立案、社内報告資料作成まで多様な業務で利用されています。

回答者プロフィール



多様な組織から回答
民間企業、観光関連事業者、観光協会、DMO、自治体など、観光業界の様々なセクターからフィードバックを得ました。

所属組織



職種



経営層から現場担当者まで
経営者・管理職 (35.7%) が最多、意思決定層と現場担当者の両方で活用。

システム評価の詳細



操作の直感性：67.9%が「はい」
専門的なトレーニングなしでも利用可能。



レポートの読みやすさ：67.9%が「読みやすい」以上
効果的な情報伝達が実現されていますが、グラフ等のビジュアル強化で更なる改善が期待されます。



機能の充実度：67.9%が「十分」
基本機能は実用レベル。32.1%から機能拡充への要望あり。



NPSスコアは「0.0」
推奨者 (17.9%) と批判者 (17.9%) が回数、中立者 (64.3%) が多数を占める自然な分布。

ユーザーの主な活用方法



82.1%が「データ確認・把握」に利用
基本的な情報収集ツールとして広く活用。



46.4%が「市場分析・戦略立案」に利用
経営や施策の意思決定を支援。



21.4%が「社内報告資料」として利用
分析レポートがそのまま報告資料として活用。

今後の展望とユーザーからの要望



要望1：ファイル出力機能
PDFやWord形式で保存・共有したいというニーズ。



要望2：ビジュアル強化
グラフや回を増やし、直感的に情報を理解できるように。



要望3：分析機能の拡充
複合分析ツールや長期的なトレンド分析など、より高度な分析機能への期待が高まっています。



課題：エリアによるデータ量の差
データ収集量が少ないエリアでは分析精度に限界があるため、複数データソースの統合による精度向上が期待されます。

コンサルティングAI

観光事業者の方や自治体職員が毎日の業務を効率よく進められるように、また外部に頼らず自分たちでマーケティングができるように、福井県観光DXコンソーシアム（構成員：合同会社basicmath）が製作した生成AIツールを提供し、その使い方までサポート。

提供する生成AIツール：「使えない」をゼロにする生成AIスイート mitsumonoAI

生成AIが観光の“相談役”になってみなさんをサポート！

Sensei AI - 佐竹 正範

福井県観光連盟 観光地域づくりマネージャー 佐竹正範氏 監修。観光DX・ブランディング・地域連携など、観光地域づくりの専門知識を搭載したAIコンサルタント。

トークン消費：中

「業種」別サポートAI

「業務」別サポートAI

観光の悩みをAIで解決！ AIアドバイザー「先生AI AI佐竹正範」

観光事業者が直面する課題



新しい体験企画のアイデア不足
例えば、カニシーズンに向けて、食事以外で顕著を惹きつける新しい体験を提供したいが、具体的なアイデアが浮かばない。



時間的制約
小顔後な事業者は日々の運営に忙しく、企画立案に十分な時間を割くことが難しい。



解決策: AIアドバイザー
「先生AI AI佐竹正範」



観光に特化したAIアドバイザー
福井県観光連盟が開発した、観光に関する悩みに特化して答えるシステム。



プロの知見をAIに搭載
観光地域づくりマネージャー佐竹氏の豊富な経験とノウハウをAIが学習している。



利用者に寄り添う「コーチング型」
一方的な回答ではなく、利用者の悩みに寄り添い、共に考えるような対話形式でチューニングされている。

導入メリットと活用事例



圧倒的な業務効率化

人間なら時間を要するアイデア出し



AIがわずか数秒で回答

企画時間を大幅に短縮する。



具体的なアイデアの創出

例: 「伝統工芸の工賃を訪れ、職人の手の動きや運具の音に触れる機会を創る」など、ユニークで具体的な体験メニューを提案。

“「仕事になくてはならない存在」
「AIだと数秒で答えてくれるので、完全に仕事になくてはならない存在です。」



約160

現在約160事業者が利用中
実証実験として、福井県内の宿泊業者や行政関係者などが活用している。

コンサルティングAI

現場の声から見るAI活用のリアル：mitsumonoAIユーザーヒアリングレポート



多様な業種の現場担当者が活用
宿泊、自治体、鉄道、飲食、製造、第三セクターなど



① コンテンツ作成

口コミ返信、ブログ記事、SNS投稿案、メール文面など



② 企画・アイデア出し

イベント企画、新規事業、メニュー開発、思考の些打ち



③ 分析・リサーチ

口コミ分析、顧客ニーズ把握、市場調整、競合分析、ペルソナ作成



④ 資料・マニュアル作成

マニュアル要約、FAQ作成、社内報画像生成、プレゼン資料骨子作成

導入による具体的な効果



口コミ返信時間が**最大2/3削減**
1件あたり10～15分 → 半分～1/3程度(宿泊事業者)

1週間の画像作成が**30分**に
スキルゼロでも時間短縮(鉄道事業者)



PRシナリオ作成が**半日から1時間**に
広報準備時間削減(一般社団法人)



調査業務の効率が**3～4倍**に向上
1時間で1自治体 → 3～4自治体(市役所職員)

金銭的価値も実感:
「画像編集10万円相当」
「月2万円削減」など費用対効果

思考の質が向上:
「視野が広がる」
「客観的な視点」
「風人化解消」

良かった点

- ★ 思考のパートナーとして高評価: アイデアの豎打ち、新たな視点の提供
- ★ 業務の入り口を高速化: 0から1の情報収集、アイデア出しが迅速に
- ★ 目的別の機能が初心者にも有効: 「レシピ開発」「SWOT分析」など明確で始めやすい

ユーザー評価と改善への期待

- ❓ 課題①: UI/UXのナビゲーション: 「どの機能をどの業務で使えばいいかわからない」ガイド機能への要望
- ❓ 課題②: 機能面の要望: 地域特性を反映した提案、より厳しい意見の出力、Excel/PDFでのダウンロード機能、機能間の連携強化など

課題と要望



AI 活用にチャレンジ（2） ToC

令和7年度観光庁 観光DX推進による地域活性化モデル実証事業 ②生成AI活用モデル

1. サイト内検索アシスタントAI

- ・ 福井県公式観光サイト「ふくいドットコム」内に、AIの検索アシスタント設置
- ・ 利用者の行動、関心事、ユーザー像の可視化

2. 観光プラン提案作成AI

- ・ 4年間収集してきた観光客アンケートをもとに、福井県観光プランを提案
- ・ 福井工業大学と福井県観光DXコンソーシアムが共同開発



観光者の「旅行計画づくりの手間と時間を削減」

1. サイト内検索アシスタントAI

AI検索アシスタント



サイト内検索AIアシスタント

本日 1/10回

こんにちは！わたしは、福井県観光連盟の公式サイト内のサイト内検索AIアシスタントです。あなたのご質問に合った情報を探し、記事リンクをご案内するお手伝いをしています。何か知りたいことがあれば、どうぞ遠慮なくお聞かせくださいね。

福井駅周辺のおすすめグルメ

福井駅周辺には、福井ならではの新鮮な海の幸や地元の味が楽しめるグルメスポットが満載です。越前がにを堪能できるお店から、地元民に愛される老舗居酒屋、おしゃれなランチスポットまで、幅広いジャンルのお店が揃っています。新幹線待ちの時間や観光の合間に、福井の美味しいものをぜひお楽しみください。

検索結果

福井のグルメオタク推薦！「福井駅周辺」で行くべきランチ6選 — 福井名物の「福そば」や新鮮な海の幸を堪能できる「松寿司」、スタイリッシュな空間でランチを楽しむ「ULO」など、福井駅周辺のランチスポットを紹介しています。 : https://www.fuku-e.com/fukutabi/detail_702.html

グルメ - 福井市 — JR福井駅徒歩1分にある「蟹と海鮮ぼんたくるふ福井駅店」では、福井名物の蟹料理や新鮮な刺身、地酒を一年中楽しめます。 : https://www.fuku-e.com/gourmet/index_1_2_126_0_.html

「ふくい屋台村」福井駅高架下の新スポット全10店舗をご紹介します！ — 昭和レトロな雰囲気の小鉢居酒屋「ユレトロ」や、本格的な韓国料理が味わえる「韓国酒店 美豚」など、個性豊かなお店が集まる屋台村の情報です。 : https://www.fuku-e.com/fukutabi/detail_475.html

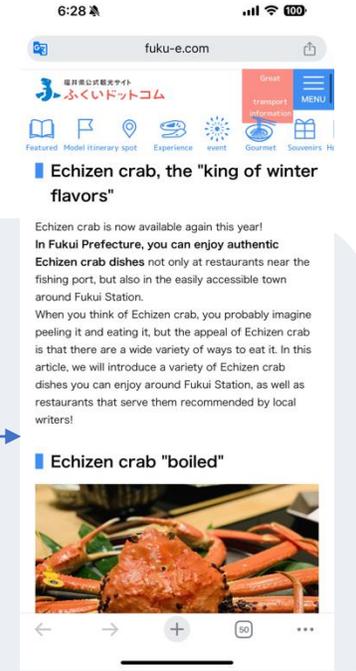
福井駅周辺で気軽に食べられる！「越前がに」の美味

会話をやります

メッセージを入力... 送信



言語選択を可能に



AI検索アシスタント

AIが解き明かす！福井観光客の検索トレンド

福井県の観光サイト「ふくいドットコム」のAI検索アシスタントのデータから、利用者の行動、関心事、ユーザー像を可視化

分析の基本データ

1,123

総クエリ数

期間：2025年10月20日～12月29日
(70日間)

92.4%

ユーザーの9割以上が
ユニークな質問
多様なニーズがうかがえる

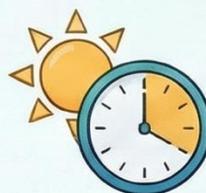


95.8%

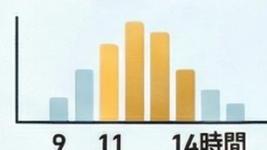
検索の95.8%は
日本語
英語は3.6%。国内旅行者が中心



ユーザーの検索行動パターン



検索の7割以上が
日中 (9-17時) に集中



9 11 14時間
旅行中・仕事の合間の検索

週末の旅行計画？
木・金曜の検索が全体の約4割



月	火	水	木	金	日
			229件 (最多)		

直前計画や平日旅行中の検索

観光客が知りたいこと (カテゴリ別ニーズ)



観光スポット
22.1%



旅行プラン
19.0%



グルメ・飲食
17.6%



宿泊
7.9%

その他
46.7%

「冬の東尋坊の楽しみ方」

「2泊3日での観光プラン」

「せいこかにと普通のほかのの違い？」

注目の地名・スポット TOP5



1. 福井
166件



2. 恐竜 (博物館)
55件



3. 越前
43件



4. 東尋坊
36件



5. 永平寺
25件

「福井」は県全体、「恐竜」は博物館への関心が高い

浮かび上がるユーザー像 (ペルソナ分析)



81.8%

一般観光客
幅広いニーズ。様々な
観光情報を纏めている



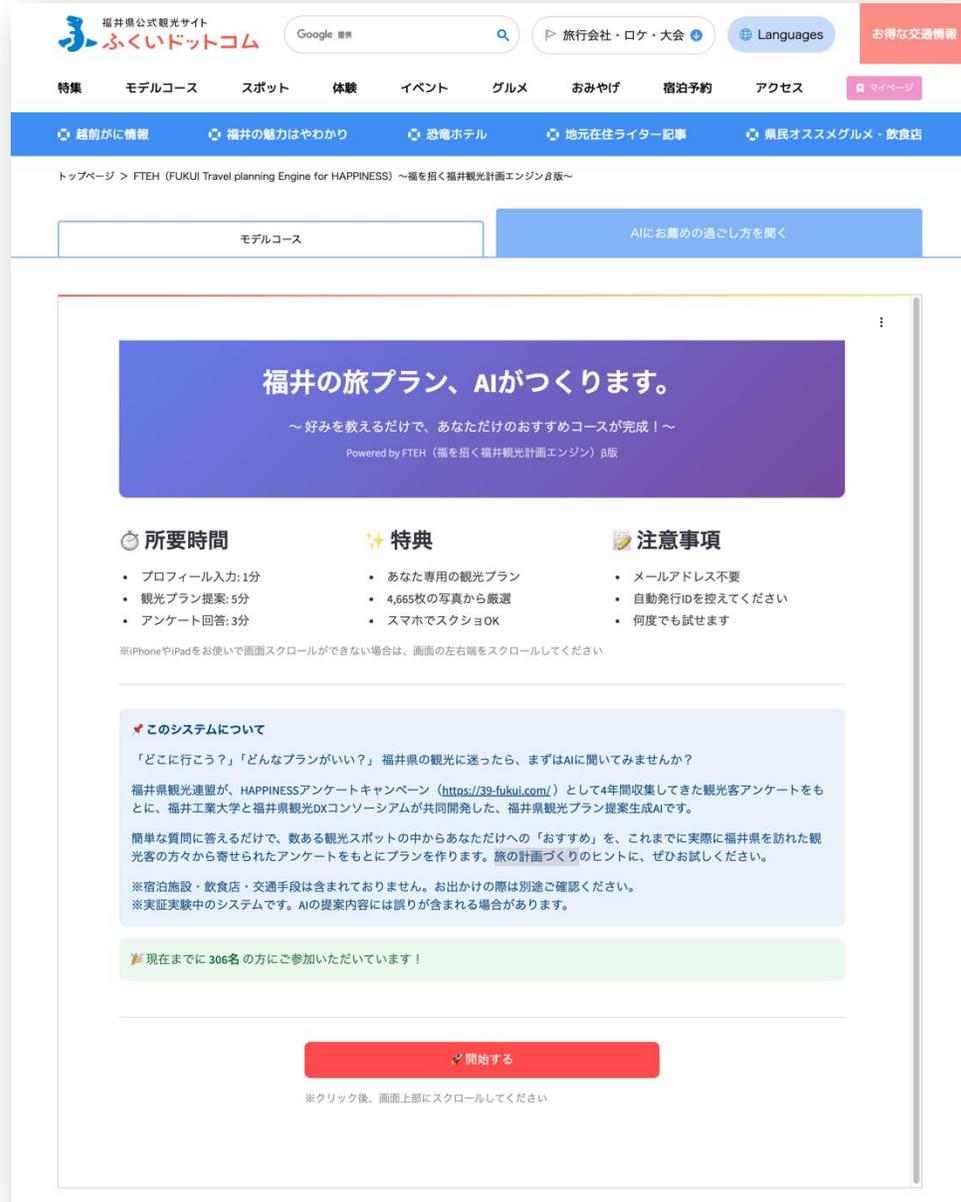
6.6%

歴史・文化愛好者
文化財情報など
特定のテーマに関心



6.4%

グルメ志向
具体的な店舗情報
などを深く探検



福井県観光連盟が、HAPPINESSアンケートキャンペーン (<https://39-fukui.com/>) で4年間収集してきた観光客アンケートをもとに、福井県観光プランを提案する生成AI

福井工業大学と福井県観光DXコンソーシアムが共同で開発



FTEH公開実証実験 初期結果 (2025年12月22日～)

福井県公式観光サイト「ふくいドットコム」モデルコースページで常設公開

基本統計 (28日間)

218名 **90.8%**

利用者数 完了率

7.8名/日 **253件**

日平均 プラン生成

※11月：845名/7日間 (121名/日)

ユーザー属性の変化

項目	11月	12月	
20-40代	25.0%	62.3%	↑
関東から	17.2%	34.1%	↑
恐竜KW	9.9%	30.0%	↑

→ 若年層・関東・家族連れの新規獲得課題

- 日平均11月の6.4% → 自然流入のみ
- 50-60代が65% → 35%に減少
- メール再配信なしでは到達困難

Gemini 2.5 Flash

アップグレード効果

ユーザーの声を含むプラン割合

31.2% → **99.2%** **+68pt**

2.0 Flash 2.5 Flash

プランあたりユーザーの声

0.97件 → **9.27件** **9.5倍**

2.0 Flash 2.5 Flash

実際のユーザーの声が信頼性・説得力を向上
→ アンケート全指標が向上

今後：メール再配信でシニア再獲得 / 春休み (3月) 本格展開で家族連れ需要

アンケート結果 (13件)

100%

情報正確性

84.6%

訪問意向

69.2%

推薦意向

61.5%

総合満足度

11月→12月の変化

情報正確性	91.3→100%	+8.7pt
訪問意向	74.9→84.6%	+9.7pt
推薦意向	54.8→69.2%	+14.4pt
総合満足度	51.6→61.5%	+9.9pt

**結論：システム安定稼働 (完了率90.8%、情報正確性100%)、
Gemini 2.5 Flashで品質大幅向上、認知度向上施策で利用拡大へ**

<観光客との接点> フロントエンド



観光客の情報収集

※メディア接触時間は、インターネットがテレビを超えて1位に

※新たなアプリ開発は、これらとの競合になる



- 福井県公式観光サイト
ふくいドットコム
- 観光情報掲載や旬の情報編集機能
 - エリア毎などのソート機能
 - 予約/販売機能
(宿泊、飲食、体験、ツアー、お土産)
(体験、ツアー、お土産の一部をTXJで内製化)



特別なクーポン



- 観光客向け地域通貨
- 移動
 - 宿泊
 - ツアー
 - 参加費、入館料
 - お土産 など

<観光データ整備> バックエンド

スマートメガネなど、今後のあらゆるインターネット接続デバイスに対応するためには、データベース作りが重要

観光データベース（現在の「ふくいドットコム」）



基本理念：ワンソースマルチユース (one source multi use)
1つの（情報）の出所から複数（多くの・様々な）メディアや目的に使用する。そのために福井県の観光に関するデータを「ふくいドットコム」に集約。

県・市町・DMO
観光連盟/協会
※一部の観光協会とはAPI連携実装済み

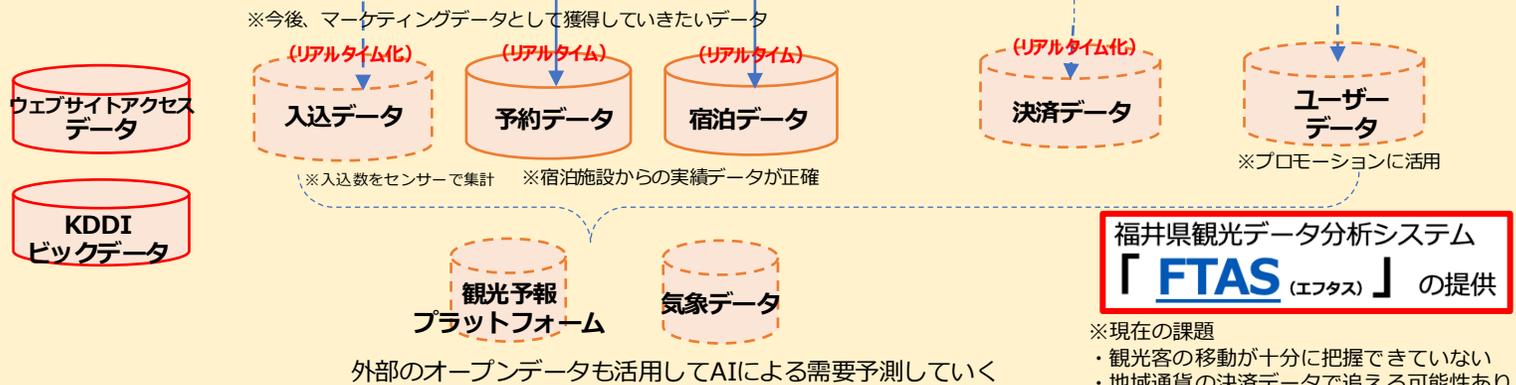
観光プレイヤー

※現在の課題
・交通系サービスのデジタル化が遅れている
・経路検索情報の提供は難易度が高い

<マーケティング・データ>

- 効果測定（フィードバック）情報
- 現状把握からターゲット選定して戦略立案
- コンテンツの開発や磨き上げ、プロモーションの効率化につなげる

メールアドレスはプロモーションに活用
利用者データを含めて将来的には、広告ビジネス活用を検討



福井県観光データ分析システム
「FTAS (エフタス)」 の提供

※現在の課題
・観光客の移動が十分に把握できていない
・地域通貨の決済データで追える可能性あり

観光客はより便利で、よりお得なサービスを選択して利用するため、フロントエンドでの囲い込みは難しい。マーケティングデータは、着地側での実績値を収集していく方がよい。

自動のコンサルティングによる
事業者の売上・利益の拡大

その人に適したレコメンドによる
最高のツーリズム体験



地点情報を持つ端末

観光地のファクトDB

観光客の嗜好性DB

加工や利用や容易なDBをいかに創っていくかが勝負

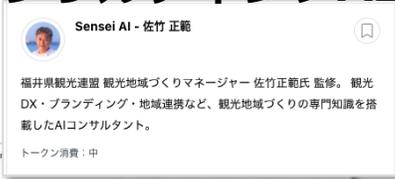
福井県観光「稼ぐ観光」に向けた生成AIの活用

観光事業者/観光行政の支援（コンサルティングの自動化）

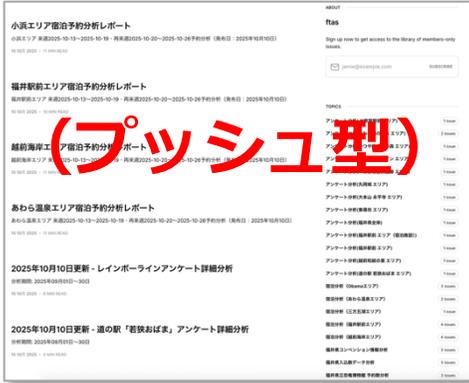
観光客の支援（観光案内の自動化）

mitsumonoAI
(2025年9月～)

観光事業者支援
コンサルティングAI



FTAS エフタス
FTAS-AI分析レポートサイト(β版)
(2025年10月～)



(プッシュ型)

福井県観光AIアドバイス
(2023年9月～)



福井県観光AIアドバイス (テスト運用中)

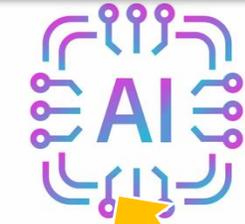
AI

FTEH (エフティ)
(2025年12月～)



AI

福井県公式観光サイト
「ふくいドットコム」
サイト内検索
アシスタントAI
(2025年11月～)

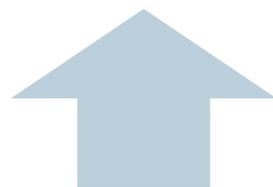


オープンデータ

FTAS エフタス
福井県観光データ分析システム

FTASデータ利用領域

観光で稼ぐプレイヤー支援



観光マーケティング環境の整備

 **FTAS** エフ
タス

福井県観光データ分析システム

オープンデータ + AI

福井県DMO
(福井県観光連盟)

オープンデータによる エリアマネジメントへの挑戦

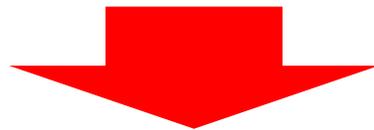


keyword

オープンデータ

オープンソース

オープンロジック



「自助」と「公助」の「共助」による
データの共有財産化

みんなで創る福井県観光

Code for Fukui

オープンデータ化
シビックテック
(現状や課題の見える化)



福井県観光データ分析システム
「FTAS (エフタス)」
(FUKUI Tourism data Analyzing System)

行政・地域DMO
観光プレイヤー

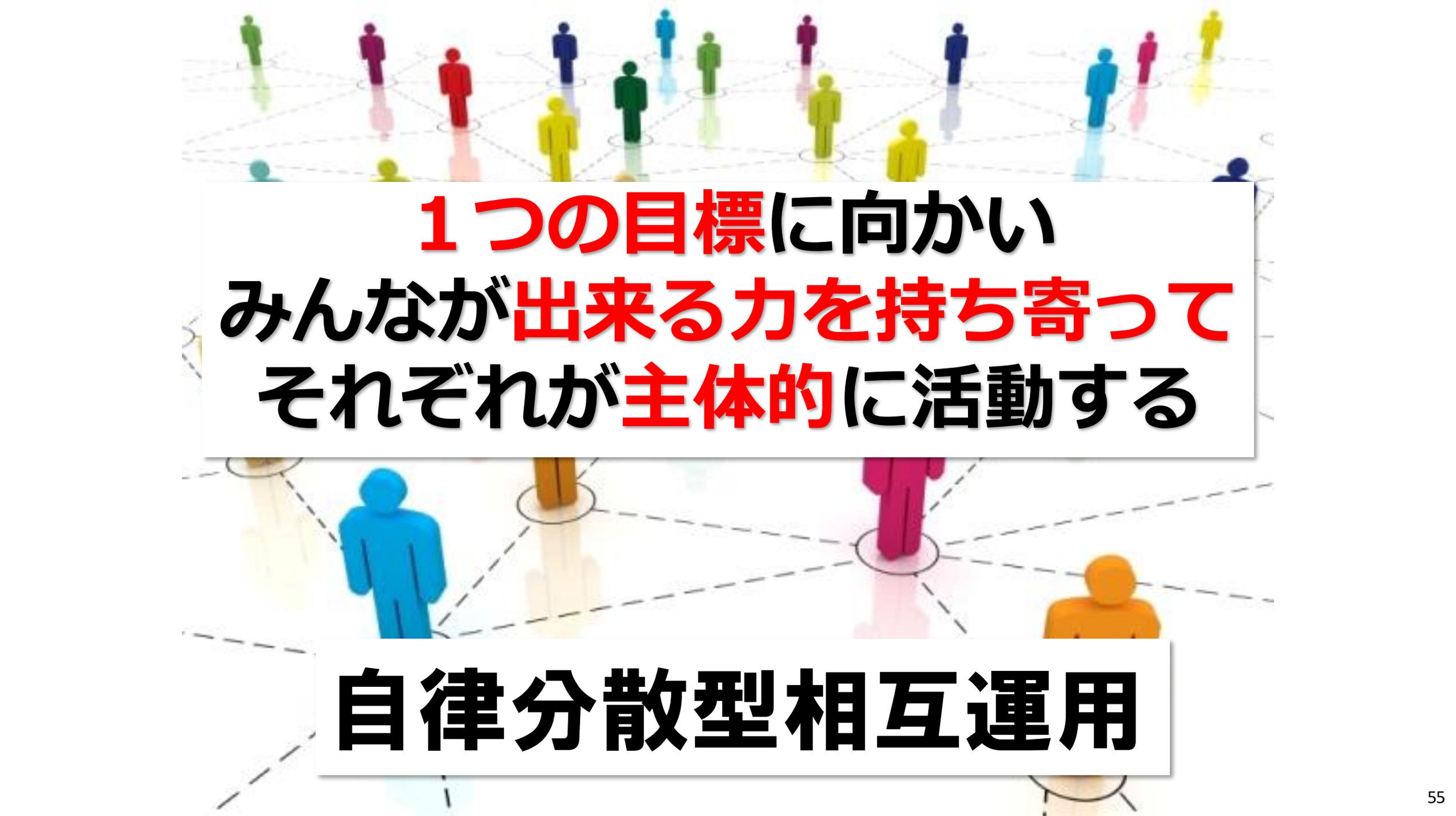
満足度の高い
観光コンテンツ開発
(モノ・コト)

観光客・県民
観光プレイヤー

アンケート協力
データ提供

観光連盟・広域DMO

PR、誘客、販促
コンテンツ開発支援

A network diagram featuring numerous colorful human icons (in shades of green, red, blue, yellow, purple, and orange) arranged in a circular pattern. Dashed lines connect these icons, forming a web of relationships. The background is white with a light gray grid.

**1つの目標に向かい
みんなが出来る力を持ち寄って
それぞれが主体的に活動する**

自律分散型相互運用

観光の国際学会THE INC2024で発表



「民間主導のオープンデータが、地域の社会関係資本の形成を促し、観光地経営のイノベーションを促す、それを「コネクショナイズーション」と名付けて提唱」

されて、世界的に評価され始めている

2024年6月5日-7日
@アムステルダム



官主導の**静的**オープンデータ



民間主導の**動的**オープンデータ

オープンデータによる
エリアマネジメントの推進

福井のオープンデータを活用したデスティネーションマネジメントを「The Fukui Model」として、國學院大學 観光まちづくり学部 小林裕和教授が発表

G 7の枠組みとしては初となる

G 7 観光大臣会合で 福井県観光DXの取組の事例発表

https://www.mlit.go.jp/kankocho/news03_00010.html

国土交通省 観光庁

Google 提供

本文へ ↓ 音声読み上げ・ルビ振り >

公募情報 | 事例集・支援ツール | 観光統計・白書 | 観光政策・制度 | 予算・税制

ホーム > 報道発表 > 2024年 > 初開催となるG 7観光大臣会合に萩川観光庁長官が出席 ～イタリア・フィレンツェにてコミュニケーションを採択～

初開催となるG 7観光大臣会合に萩川観光庁長官が出席 ～イタリア・フィレンツェにてコミュニケーションを採択～

上、観光大臣会合結果

大臣会合では、(1)持続可能な観光、(2)観光におけるAI、(3)観光における人的資本、(4)観光分野におけるG 7のリーダーシップについて議論が行われました。((2)については招待国・機関(ブラジル、エジプト、インド及びサウジアラビア並びに世界観光機関(UN Tourism))も参加)。我が国からは、それぞれのテーマに関する我が国の課題や取組、特に持続可能で強靱な観光について、本年11月に宮城巖山仙台にて観光レジリエンスに関する閣僚級会合を開催し、観光レジリエンス向上に向けた今後の取組の方向性を取りまとめたこと等について発信しました。

本大臣会合での議論の結果、観光が、持続可能な繁栄、多様性への理解、異文化間の相互理解や尊重、ひいては、国際平和に資することへの認識を改めてG 7各国で確認し、観光分野でG 7が率先して国際社会に貢献していくことの意味について共通理解が得られ、以下の内容が盛り込まれたコミニケーションが採択されました。

- 持続可能かつ包摂的な、バランスの取れた観光の発展の促進
- 観光産業における人的資本の主要な役割とその強化・向上
- 観光の発展における、人工知能(AI)を含むデジタル技術導入の可能性

令和6年11月13日～15日にイタリア・フィレンツェに長官が出席しました。
本会合では、持続可能で包摂的な社会発展のための観光の役割を再確認し、観光分野でG 7が率先して国際社会に貢献していくことの意味について共通理解が得られ、以下の内容が盛り込まれたコミニケーションが採択されました。

G7/OECD Policy Paper

Artificial Intelligence and Tourism

OECD

2 | Table of contents

Key messages: Harnessing AI to support tourism innovation and sustainability 4

Artificial Intelligence and Tourism 7

Understanding the potential of AI to enhance innovation 7

AI policies and recent developments 9

Applications and potential of AI in tourism 13

AI for policy makers 16

AI for destinations and local communities 16

AI for tourism businesses 20

AI for tourism workers 22

AI for tourists 23

Side associated with AI adoption in tourism 26

Slow technology diffusion 26

Data quality and algorithmic collusion 27

Security issues and intellectual property 28

Job profiles and levels (skills) 28

Quality and inclusivity of the tourist experience 30

Environmental impact 30

Conclusions and policy considerations 32

References 35

Annex A. AI applications in tourism 40

Annex B. AI diffusion across tourism sectors in Europe 46

Tables 11

Table 1. Examples of potential AI applications for business 11

Table 2. Selected examples of AI applications to support innovation and sustainability in tourism 40

Figures 10

Figure 1. Assets and output of an AI system 10

Box 3. Examples, AI for destinations and local communities

Notre-Dame Cathedral in Paris, France

The Cathedral is being restored, guided by AI technology. Following the extensive damage, which included the destruction of the roof and spire, a digital twin of the cathedral has been created. This digital model combines prior 3D scans of the cathedral with reality capture scans and AI-powered modelling to develop precise and effective rebuilding plans. AI plays a crucial role in analysing structural data, ensuring that the restoration adheres to historical accuracy while enhancing structural integrity. The project aims to meticulously reconstruct the iconic cathedral and reinforce its structure, with the goal of reopening Notre-Dame to pilgrims and tourists while preserving its historical and cultural significance.

Analysing traveller surveys in Fukui, Japan

The Fukui Prefecture Tourism Federation uses a data management platform that collects traveller surveys and consumption data, leading to a total of over 50000 cases and 90 facilities, which require huge workloads in the analysis. To address this issue a system has been built in which AI performs analysis according to the region and selected period and displays the summary of results and suggestions. Marketing staff are able to timely and efficiently obtain information on the strengths and issues that need improvement in the region. This supports the development of improvement plans together with local commercial facilities and the Chamber of Commerce and Industry for better management and more consumption

Barcelona, Spain, Zoobot

Spain's Smart Tourism Destinations Programme has introduced an AI-enhanced chatbot designed to make the Barcelona Zoo more accessible for individuals with visual, auditory, and cognitive disabilities, as well as those with mental health disorders. This innovative chatbot utilises advanced AI to provide personalised assistance and information tailored to diverse accessibility needs. Zoobot offers real-time support and guidance, helping tourists navigate the zoo, understand exhibits, and enhance their overall experience. The AI-driven chatbot can deliver information in various formats—such as audio descriptions, text, and visual aids—to accommodate different needs.

VisitBritain, "Fake Brit Til You Make It"

VisitBritain's digital marketing campaign leverages AI to engage American consumers by highlighting Britain's rich regional diversity. This campaign employs AI-driven gamification techniques that incorporate regional British dialects to create an immersive and interactive experience. By analysing user interactions and preferences, the AI tailors the campaign content to resonate with individual participants, enhancing engagement and personalisation. The anticipated outcomes include increased awareness and interest in British tourism among American audiences, a deeper appreciation of regional diversity, and a boost in VisitBritain's market presence.

● 開催日時
令和6年11月13日(水)～15日(金)

● 開催地
イタリア・フィレンツェ

● 参加国・機関
G 7国(イタリア(議長国)、フランス、米国、英国、ドイツ、日本、カナダ)、EU、ブラジル、エジプト、インド、サウジアラビア、OECD、UN Tourism、WTTC

● 参加関係等(G 7各国)
イタリア: ダニエラ・サンタンケ 観光大臣(議長国)
フランス: マリーナ・フェラーリ 経済・財務・産業大臣付 観光経済担当大臣
米国: アレックス・ラスリー 商務省 旅行・観光担当次官補代理
英国: ロバート・スペクターマン=グリーン 文化・メディア・スポーツ省 メディア&国際部長
ドイツ: ディーター・ヤネチェク 経済気候保護省 海事経済・観光担当コーディネーター
日本: 萩川直也 観光庁長官
カナダ: ソラヤ・マルティネス・フェラダ 観光大臣兼ケベック州経済開発庁担当大臣
EU: フーベルト・ギャムズ 欧州委員会 域内市場・産業・アントレプレナーシップ・中小企業総局 副局長

食べることは、
幸福の中にあることでした。

FUKUI HAPPINESS

大本山 永平寺

来る人も
住む人も
しあわせ福井

仏教の教えとは、
「苦から楽へ、共に幸せになる道」

仏教の教えを一言で言うと
「縁起」

仏とは、
全ての縁を「善縁」にしていく
思考と覚悟

曹洞宗大本山 永平寺
副監院 西田正法 老師